

「感謝」の気持ちを忘れない！

1月31日（日） 青少年健全育成意見発表会が開催され、本校の6年児童が発表することになっていましたが、残念ながらコロナ禍のため中止となってしまいました。

何度も原稿を書き直したり、原稿を覚えて発表練習を繰り返したりするなど、本番に向けて、たくさんの努力をしてくれました。そのような子どもの努力と素直な思いを多くの方々に伝えたくて、学校だよりで紹介しようと考えました。紙面の都合で、全てを載せることはできませんが、抜粋したものから、児童のふるさとへの思いを感じ取っていただけたらと思います。

12月4日に「えいしんまつり」が行われました。「えいしんまつり」とは、盈進小学校で毎年12月に行われている大きな行事です。

高学年は、伝統のそば打ちをしながら、保護者や地域の方々と交流します。・・・

「山下そば」は、私たち盈進小学校の子どもにとっては、まさに、**ふるさとの味**なのです。・・・

JA 青年部のみなさんは、それぞれ自分の仕事があるにも関わらず、毎回私たちのために来て指導してくださいました。だから、私も**感謝**の気持ちをもって活動に参加しました。・・・

実は、私たちがまいたそばの種は、台風の影響でほとんど育ちませんでした。では、どうしてそばの収穫ができたのか。それは、地域の方が、自分の畑のそばを提供して下さったからです。おかげで、私たちはそばを収穫でき、えいしんまつりでおいしいそばを食べることができました。困ったときに「よかよ。」と助けてくれる**地域の温かさ**にふれ、助け合うことの大切さを学びました。・・・

新型コロナウイルスの影響で、いろいろな行事がなくなりましたが、先生方が一生懸命考えて下さり、えいしんまつりが実現できたと思います。自分たちの活動が、たくさんの人に支えられて成り立っていることを実感し、**感謝**の気持ちでいっぱいです。・・・

これからも、しっかりと準備をして積み重ねていくことが大事だと思うので、一つ一つのことを大切に頑張っていこうと思います。そして、多くの人に支えられていることへの**感謝**の気持ちを忘れずに生活していきたいと思います。

地震がおきたら・・・

2月2日（火）13時35分 地震発生を知らせる校内放送。子ども達は、担任の指示で、すばやく机の下に隠れ、自分の身を守ります。机が倒れないように足をしっかり押さえ、揺れがおさまるまでじっとしゃがんでいる姿から、訓練に取り組む真剣な思いが伝わってきました。

五島に住んでいると、地震を経験することもなく、その怖さを実感することも難しいと思いますが、災害は、いつ・どこで起きるか分かりません。いざというときに、冷静に対応するための大切な訓練でした。また、地震後に津波が予想される場合は、校舎の屋上に避難するようにしています。普段から、「もしもの時にどうしたらいいのか。」考えながら生活できるように、今後も指導を継続し、『自分の命は、自分で守る』ことのできる子どもを育てていきます。

